第１回情報発信の在り方等に関する検討会資料

1.自動車メーカーがこれまで取り組んできた自動車リサイクルに関する情報公開

(1)企業の社会的責任(CSR)において、環境に対する取組の情報公開を行い、自動車ユーザーや自動車リサイクル関係業者、投資家等へ広く周知。(自社 HP、環境報告書(CSR レポート)等)

①製品における環境負荷低減の取組

・解体容易化設計事例、リサイクル材使用部位の事例、植物由来樹脂の開発・採用

・自主取組の状況

②個別車種毎の達成状況

・車種別環境情報

③自動車リサイクル法関連の対応状況

・車種別リサイクル料金や関連業者への支払料金、引取基準の提示

・自動車リサイクル法の義務履行状況

・使用済みのリチウムイオン・ニッケル水素バッテリーや水素・CNG タンクなど通常の使用済み自動車処理工程では処理困難物を安全に取外す工法の提供。

(2)関連団体と連携した取り組み

・エアバッグ取外し方法の周知や安全作業の注意喚起(JARS、自再協 HP)

・業界自主取組の公表(定例審議会・各社 HP(車種別環境情報内))

・レアメタル使用部品一覧を公開(JARS)

2.情報公開の結果

・市場のニーズに対し情報提供を行い、社会的責任の一定の効果はあったものと考える。

3.今後の情報公開の考え方

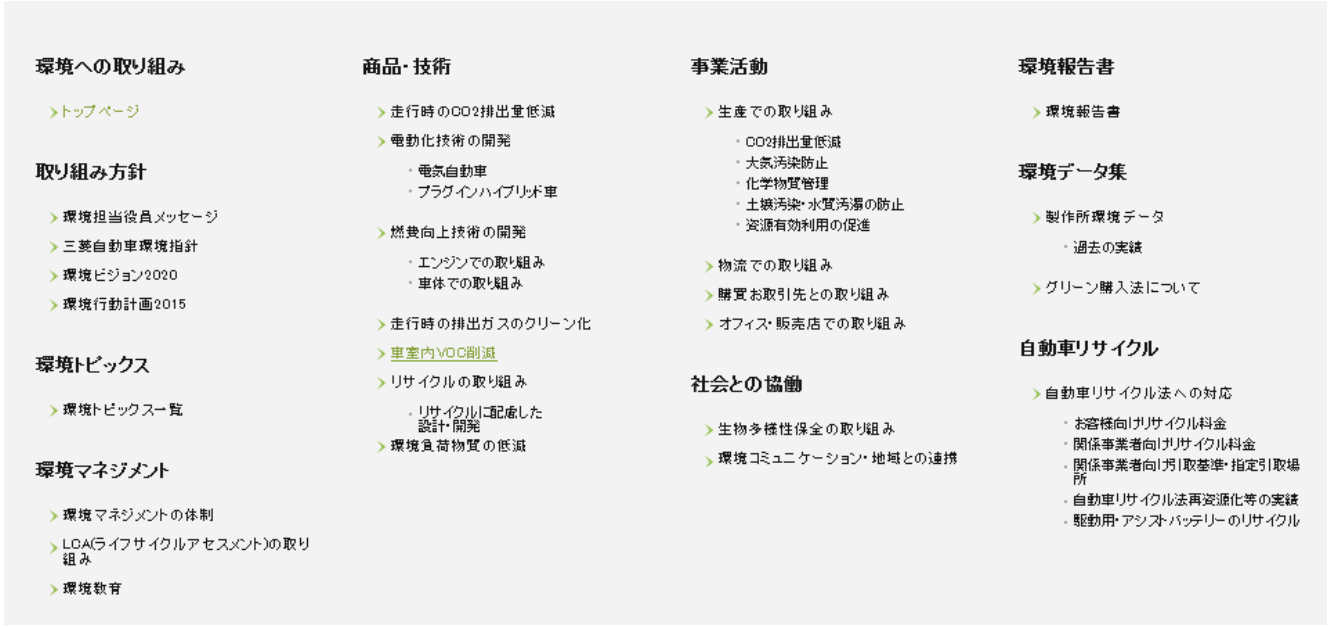
・ISO26000 や GRI ガイドライン(G4)等で情報公開の基準が提示されており、これらを参考にしながら、今後もニーズに合わせながら情報公開に努めていく。

以上

添付 1

参考資料

三菱自動車 HP 記載項目 http://www.mitsubishi-motors.com/jp/social/environment/index.html



環境への取り組み
- トップページ

取り組み方針
- 環境担当役員メッセージ
- 三菱自動車環境指針
- 環境ビジョン2020
- 環境行動計画2015

環境トピックス
- 環境トピックス一覧

環境マネジメント
- 環境マネジメントの体制
- LCA(ライフサイクルアセスメント)の取り組み
- 環境教育

商品・技術
- 走行時のCO2排出量低減
- 電動化技術の開発
  - 電気自動車
  - プラグインハイブリッド車
- 燃費向上技術の開発
  - エンジンでの取り組み
  - 車体での取り組み
- 走行時の排出ガスのクリーン化
- 車室内VOC削減
- リサイクルの取り組み
  - リサイクルに配慮した設計・開発
- 環境負荷物質の低減

事業活動
- 生産での取り組み
  - CO2排出量低減
  - 大気汚染防止
  - 化学物質管理
  - 土壌汚染・水質汚濁の防止
  - 資源有効利用の促進
- 物流での取り組み
- 購買お取引先との取り組み
- オフィス・販売店での取り組み

社会との協働
- 生物多様性保全の取り組み
- 環境コミュニケーション・地域との連携

環境報告書
- 環境報告書

環境データ集
- 製作所環境データ
  - 過去の実績
- グリーン購入法について

自動車リサイクル
- 自動車リサイクル法への対応
  - お客様向けリサイクル料金
  - 関係事業者向けリサイクル料金
  - 関係事業者向け引取基準・指定引取場所
  - 自動車リサイクル法再資源化等の実績
  - 駆動用・アシストバッテリーのリサイクル

自工会 HP 記載項目 http://www.jama.or.jp/eco/recycle/index.html

JAMA 一般社団法人 日本自動車工業会 Japan Automobile Manufacturers Association, Inc.
English | ヘルプ | サイトマップ 検索
自工会の概要 リリース/発見 データファイル ライブラリー
ホーム > クルマと環境 > リサイクル

- 環境に関する自工会の取り組み
- 排出ガス
- 微小粒子状物質SPMからPM2.5へ
- 環境対策
- リサイクル
- 低燃費・低排出ガス車認定制度
- 燃料品質に関する提言
- ディーゼル車規制に対する自動車メーカーの対応
- 騒音
- ASR基準重量の算出手順の基本的な考え方
- 破砕業者を対象とした自動車リサイクル説明会資料
- 乗用車・貨物車の2015年度燃費基準
- 重量車(トラック・バス)の燃費基準
- 車室内VOC(揮発性有機化合物)低減に対する自主取り組み
- 自動車環境情報

リサイクル

リサイクルの促進と廃棄物の低減をめざして

2005年1月より自動車リサイクル法が施行されました。同法では自動車メーカー、輸入業者にフロン、エアバッグ、ASR(シュレッダーダスト)の引取りとリサイクル・適正処理を義務づけています。ASRについては2015年度までにリサイクル率を70%以上にすることが決まっており、これによりリサイクル率は法施行前の80%程度から95%以上にまで向上しました。また、同法は使用済自動車の引取りからリサイクルに至る工程を電子マニフェストで管理する世界初の仕組みを採用しています。日本自動車工業会は中心的な役割を果たすべく、電子システムの構築や、その後のシステム維持・改善について協力及び費用負担をしています。3R(リデュース・リユース・リサイクル)の観点からは、自動車を設計する際に、軽量化や原材料の工夫等を図るとともに、製造工程で発生する特定副産物の発生抑制及びリサイクルに取り組んでいます。その結果、2013年度の最終処分量は基準年度(1990年度)比で99.9%の削減(最終処分量:0.4千トン)を実現し、目標の「2015年度時点での最終処分量1万トン以下」を早期に達成しました。

<資料>

添付 2

参考資料　トヨタ自動車 HP　記載項目

http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/plan/sixth_plan/index.html

環境への取り組み 掲載一覧

トヨタ環境チャレンジ2050

- 環境チャレンジ2050 トップ
- 環境チャレンジ2050 詳細

環境マネジメント

- 環境理念・方針と環境取組プラン
- 推進体制・仕組み
- 連結環境マネジメントの強化・推進
- 環境評価システム、Eco-VASの概要
- Eco-VASの推進
- サステイナブル・プラント活動の推進
- ビジネスパートナーとの連携
- 遵法活動
- エコ・ファクトリー活動
- 工場の環境保全活動の取り組み事例
- 海外事例
- 車種別環境情報
- エコカーの法律、支援施策など
- 生産活動における環境取り組み
- 社員のエコマインド向上活動
- グリーン調達ガイドライン

トヨタ環境取組プラン

- 第6次「トヨタ環境取組プラン」
- 第5次「トヨタ環境取組プラン」
- 第4次「トヨタ環境取組プラン」

低炭素社会の構築

- 基本的な考え方
- 次世代車開発の推進
- 燃費性能を目指す開発への対応
- FCVの普及を目指して
- SCOPE3への対応
- 生産活動における温室出量の低減
- 物流活動におけるCO_2減
- 物流分野のCO_2削減事
- 「Fun To ECO-DRIVエクト
- WBCSD
- 海外事例
- 再生可能エネルギーの
- 次世代車のライフサイり組み
- 環境技術

循環型社会の構築

- 基本的な考え方
- 動画で紹介：自動車リサイクルへの取り組み
- リサイクル設計の推進
- 廃棄物の低減と資源の有効利用
- 資源有効利用の推進
- 自動車リサイクル法対応
- 海外事例
- クルマとリサイクル
- 車種別リサイクル料金一覧
- 再資源化等の実績
- リサイクル関係事業者向け情報
- HVバッテリーリサイクル
- 適正処理関連マニュアル

環境保全と自然共生社会の構築

- 基本的な考え方
- 都市大気環境改善に資する排出ガスの低減
- 製品含有化学物質の管理
- 生産活動における環境負荷物質の低減
- 排出ガス低減への取り組み
- 工場の森づくりを通じた生態系保護
- 生物多様性ガイドライン
- 生物多様性の取り組み事例
- 生物多様性 論文・冊子
- 生物多様性への取り組み
- 海外事例
- トヨタ環境活動助成プログラム
- トヨタ白川郷自然學校

その他

- 海外事業体での取り組み
- 環境データ
- 環境展示会（エコプロダクツ展）
- お子様向けサイト リンク集
- トヨタの森づくり
- ITS：環境への取り組み
- ITS：低炭素交通システムの構築
- スマートグリッド

（例）トヨタ HV 取外しマニュアルのダウンロードページ

（例）エコプラスチックの採用部位情報

参考資料　本田　HP　記載項目

http://www.honda.co.jp/environment/report/activities/recycling/p4.html

＊Honda は毎年、Honda 環境年次レポートを発信し、環境活動の PR を行っています。

【Honda の資源循環への取り組み事例】

ホームページ：

http://www.honda.co.jp/environment/report/activities/recycling/p4.html

添付 4

参考資料

日産自動車 HP 記載項目

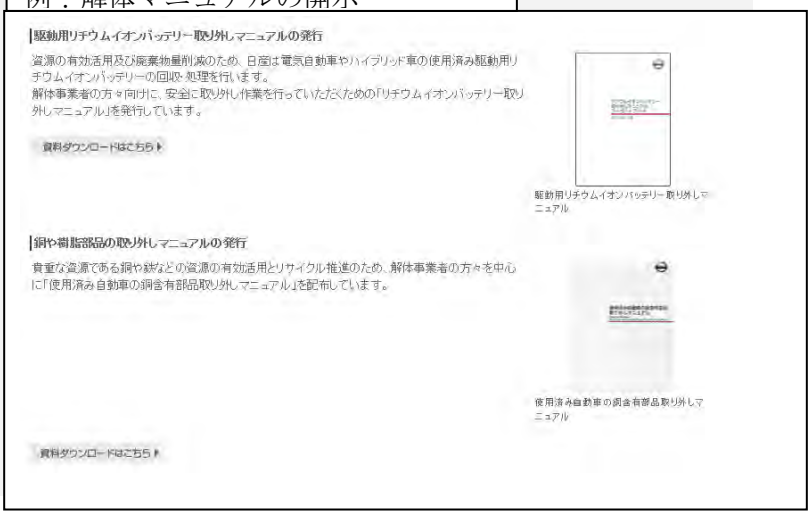
http://www.nissan-global.com/JP/ENVIRONMENT/CAR/RECYCLE/

環境への考え方
クルマでの取り組み
長期目標とロードマップ
車種別環境情報
ゼロ・エミッションモビリティの推進
電気自動車
燃料電池車
燃費の向上
ハイブリッド車
クリーンディーゼル車
排出ガスのクリーン化
車両の軽量化
希少資源の削減
車室内 VOC 削減
リサイクルへの取り組み
開発時の取り組み
生産時の取り組み
サービス時（販売店）の取り組み
使用済み時の取り組み
自動車リサイクル法への対応
環境負荷物質の低減
LCA
工場での取り組み
販売店での取り組み
オフィスでの取り組み
サプライヤーとの取り組み
社会とともに
環境コミュニケーション
環境データ集
環境ホット・トピックス
自動車リサイクル法

例：リサイクルへの取組　TOP

例：解体しやすい構造の開発

例：解体マニュアルの開示



参考資料　いすゞ自動車 HP　CSR トップ　記載項目

http://www.isuzu.co.jp/company/csr/eco/policy/index.html

リサイクル情報：いすゞ自動車 HP　「いすゞ車のリサイクル情報」

http://www.isuzu.co.jp/company/csr/recycle/info/index.html

ISUZU

ミュージアム　いすゞテクノロジー　世界のはたらく車

Home　リコール情報　お問い合わせ　English　検索

商品情報　販売・サービス網　トラックステーション　企業情報　投資家の皆様へ　CSR　採用情報

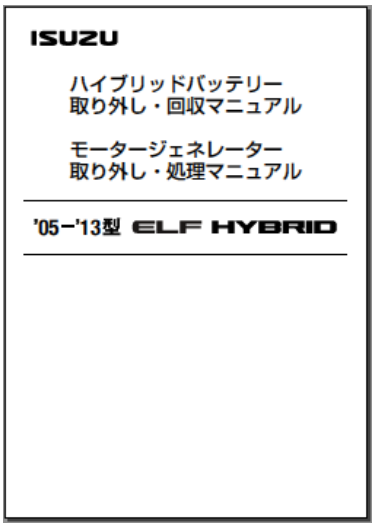
CSRトップ ＞ いすゞ車のリサイクルについて ＞ いすゞ車のリサイクル情報

いすゞ車のリサイクル情報

よくお読みいただき、注意事項を厳守し安全な作業を行ってください。

No	項目	対象車種
1	エルフハイブリッド車レスキュー時の取り扱いについて(3.5MB)	エルフ
2	エルフハイブリッドバッテリーの取り外し・回収マニュアル(15.3MB)	エルフ
3	CNG車ガス容器くず化マニュアル(2.9MB)	エルフ フォワード 大型路線バスエルガ 中型路線バスエルガミオ
4	大型路線バス エルガハイブリッドバッテリーの取り外し・回収マニュアル(874kB)	大型路線バスエルガ
5	大型路線バス エルガハイブリッド車レスキュー時の取り扱いについて(3.5MB)	大型路線バスエルガ

＜掲載されているリサイクルマニュアルの例＞



ISUZU

ハイブリッドバッテリー
取り外し・回収マニュアル

モーターージェネレーター
取り外し・処理マニュアル

'05−'13型 ELF HYBRID

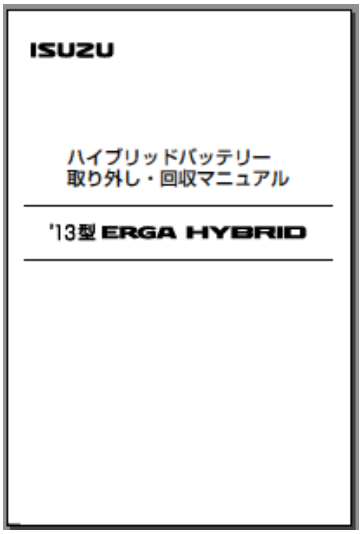
ISUZU

CNG車
ガス容器くず化マニュアル

CNG

いすゞ自動車株式会社

2012年10月発行
第三版



ISUZU

ハイブリッドバッテリー
取り外し・回収マニュアル

'13型 ERGA HYBRID

添付 6

参考資料
　スズキ　HP 記載項目
http://www.suzuki.co.jp/about/csr/policy/index.html#envPlan
環境取り組み一覧　HP抜粋

スズキ環境計画2015

スズキは「スズキ地球環境憲章」に基づき、美しい地球と豊かな社会を次の世代に引継ぐために2012年度から2015年度までの環境保全の取り組み「スズキ環境計画2015」を策定しました。
スズキは事業活動などに伴い発生する環境への影響を真摯に受け止め、環境に配慮した製品開発を行い、環境への影響を低減する事業活動を推進することを最重要課題として考え、下記4つのテーマで国内外の関連会社を含めグループ一丸となって「スズキ環境計画2015」に取り組んでいます。

■ 地球温暖化の抑制

地球温暖化の要因とされるCO_2排出量を低減するため、トップクラスの低燃費車や次世代自動車の開発を推進していきます。
また、生産・物流においても省エネを徹底し、効率的な事業活動を推進していきます。

ワゴンR

e-Let's

■ 環境保全等の推進

O_2センサーとメタルハニカム触媒を搭載したマフラー

排出ガスと環境負荷物質等においては、法規制や業界自主規制への対応にとどまらず、規制以上の目標値を自主的に設定して環境負荷の低減を推進していきます。

■ 3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進

無駄を出さない開発・生産段階から、使用済み段階の効率的な再資源化まで、一貫して資源を大切に利用することによって持続可能な循環型社会の実現に貢献していきます。

リサイクル材を使用した部品例

エンジンアンダーカバー

フットレスト

バッテリーホルダー

■ 社会との連携

スズキの森　植林活動

社会の一員として、様々なステークホルダーの皆さまと環境コミュニケーションの推進に取り組むことで、共に自然環境と調和した社会の発展を目指します。

生物多様性ガイドライン

スズキは「スズキ地球環境憲章」に基づき、美しい地球と豊かな社会を次世代へ引き継いでいくために、輸送機器メーカーとして地球環境の保全に取り組んでいます。
加えて、人類の誕生以来、私たちの生活に多大な自然の恵みをもたらしている「生物多様性」の保全も、事業活動等によって避けられない影響を及ぼす重要な環境課題と認識しています。
そこで、スズキは事業活動等において「生物多様性」の保全と持続可能な利用に取り組む指針として、「スズキ生物多様性ガイドライン」を策定しました。

（例）リチウムイオンバッテリーの回収・取り外しマニュアル　HP抜粋
http://www.suzuki.co.jp/about/csr/recycle/battery/index.html

環境・社会貢献

自動車リサイクルトップ
自動車リサイクルへの取組みについて
自動車リサイクル料金について（2004年12月以前の車種）
自動車リサイクル料金について（2005年1月以降の車種）
軽自動車
登録車
回収業者・解体業者の皆様へ
リチウムイオンバッテリー回収・リサイクルについて
再資源化等の実施状況
2014年度
2013年度
2012年度
2011年度
2010年度
2009年度
2008年度
2007年度

リチウムイオンバッテリー回収・リサイクルについて

使用済自動車の再資源化等に関する法律（通称：自動車リサイクル法）施行規則が、2012年2月1日に改正・施行され、事前回収物品に「リチウムイオン電池」と「ニッケル・水素電池」が追加されました。

スズキ（株）では、使用済のリチウムイオンバッテリーの適正な処理を行なうため、回収を行なっております。

スズキ（株）が製造するリチウムイオンバッテリー搭載車を廃車解体処理する際は、必ず事前にリチウムイオンバッテリーを取り外していただき、回収にご協力ください。

尚、安全確保のため、回収・リサイクルマニュアル、及び対象車種の取り外しマニュアルをよくお読みいただき、適正・安全な取り外し作業を行なってください。

対象車種マニュアル類一覧

1. 解体事業者様向け回収・リサイクルマニュアル

ENE-CHARGE、S-ENE CHARGE搭載車全車共通（PDF版）　[939KB]

2. スズキリチウムイオンバッテリーパック引取依頼票

ENE-CHARGE、S-ENE CHARGE搭載車全車共通
Word版　[457KB]
PDF版　[253KB]

3. 解体事業者様向け取り外しマニュアル

ワゴンR　MH34S（ENE-CHARGE搭載車）（PDF版）　[701KB]
ワゴンR　MH44S（S-ENE CHARGE搭載車）（PDF版）　[743KB]
アルト エコ　HA35S（ENE-CHARGE搭載車）（PDF版）　[884KB]
アルト　HA36S（ENE-CHARGE搭載車）（PDF版）　[884KB]
ラパン　HE33S（ENE-CHARGE搭載車）（PDF版）　[884KB]

例)リサイクルし易い樹脂材料の使用
スズキ環境・社会レポート2015から抜粋
http://www.suzuki.co.jp/about/csr/report/2015/pdf/2015_envj_04_04.pdf

リサイクルし易い樹脂材料の使用

プラスチックを大きく分けると「熱硬化性樹脂※1」と「熱可塑性樹脂※2」の2種類に分けられます。
スズキでは、ほとんどの樹脂部品に"熱可塑性樹脂"を使用して、環境に配慮したクルマ作りに取り組んでいます。

主なリサイクル可能樹脂材料の使用箇所(例:アルト内装)

部品名

ルームミラー & ルームランプ	ハウジング	グローブボックス	ボックス	ドアトリム	フロント	ボード
	ステイ		リッド			アームレスト
	レンズ	サイドシルスカッフ				ポケット
センタピラートリム	アッパー	ロアボックス			リヤ	ボード
	ロア	コンソールボックス				ブルケース
レーダーカバー		インストルメントクラスタパネル			バック	表皮
アシストグリップ		インストルメントパネル				ベース
クォータートリム	アッパー	フロントピラートリム		ラゲッジボード		アッパー
	ロア	ドアハンドル				ロア

※1 熱硬化性樹脂
熱と圧力によって硬化した後は、再加熱しても軟化・溶融しない樹脂。
※2 熱可塑性樹脂
成形後でも再加熱により軟化・溶融し、冷却すると固化する樹脂。溶融・固化を繰り返し行うことで再利用が可能。

添付 7

参考資料　ダイハツ　HP 記載項目

http://www.daihatsu.co.jp/company/csr/env_management/index.htm

環境マネジメント[CSR]【ダイハツ企業情報】

DAIHATSU

商品・サービス　企業情報　IR情報　広報発表　採用情報　Global　リコール等情報

企業情報トップ　メッセージ　会社概要　ダイハツのクルマづくり　CSR　調達活動

トップ > CSR > 環境保全への取組み > 環境マネジメント

文字のサイズ 小 大

CSR

- トップメッセージ
- ダイハツのビジネス
- スモールカーだからこそできること
- ダイハツのCSR
- マネジメント
- お客様への取組み
- サプライヤーへの取組み
- 株主・投資家への取組み
- 従業員への取組み
- 社会への取組み
- 環境保全への取組み
  - 環境マネジメント
  - 開発・設計での取組み
  - 生産での取組み
  - 物流での取組み
  - 販売会社での取組み
  - 使用済自動車への取組み
  - 環境コミュニケーション
- 報告方針

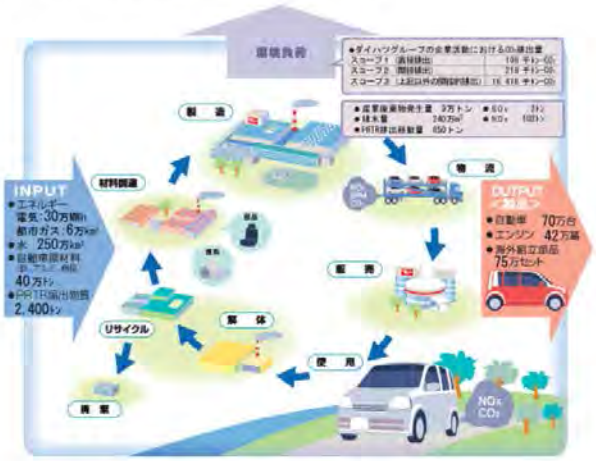
環境マネジメント

企業活動と環境影響　環境取組みプラン　環境推進体制　環境教育・啓発　環境会計　LCA（ライフサイクルアセスメント）

企業活動によって発生する環境負荷の概要

当社グループは、企業活動における物質やエネルギーなどのインプット、アウトプットを把握し、環境負荷低減に努めています。

■クルマの生産から廃棄までの間に発生する環境への影響



目指す社会	企業活動分野	素材製造・部品調達	車両製造	物流	使用（走行）	販売・サービス	廃棄・リサイクル
	低炭素社会の構築	素材製造時のエネルギー使用によるCO₂排出 部品製造によるエネルギー使用によるCO₂排出	製造ラインでのエネルギー使用によるCO₂排出 フロンガス充填時の漏洩による温暖化	輸送トラックの化石燃料使用によるCO₂排出	走行時のガソリンの燃焼によるCO₂排出	フロンガス漏洩による温暖化	フロンガス漏洩による温暖化 解体、破砕工程でのエネルギー使用によるCO₂排出
	循環型社会の構築	廃棄物の排出 水資源の使用	廃棄物の排出 水資源の使用	梱包資材の使用、廃棄		ダイヤ、バッテリー、オイルなどの交換による廃棄物の発生	ASRをサーマルリサイクルし、残渣を埋立処分
	環境保全と自然共生社会の構築	水質汚濁物質の排出 水系、土壌への化学物質の排出 NOx、SOxの排出	水系、土壌への水質汚濁物質・化学物質の排出 塗装機などからのNOx、SOx排出 接着設備などからのVOC、化学物質の排出 操業時の振動、騒音	NOx、SOx、PMの排出 走行時の騒音、振動	NOx、SOxの排出 車室内VOCによる健康被害 製品含有化学物質による環境汚染 走行時の車外騒音、振動	フロンガス漏洩によるオゾン層破壊	フロンガス漏洩によるオゾン層破壊 液・油脂漏洩による水、土壌汚染 重金属による土壌汚染 エアバッグ展開事故による人的被害

Copyright ©1996-2015 Daihatsu Motor Co.,Ltd. All rights reserved.

プライバシーポリシー　サイトのご利用について　サイトマップ　お問い合わせ

添付 8

参考資料　日野自動車 HP「環境報告」　記載項目

http://www.hino.co.jp/csr/environment/env_index.html

環境マネジメント

環境保全に関する基本的な考え方「日野地球環境憲章」に基づき各種活動を推進しています。

- 日野地球環境憲章
- 2015年環境取り組みプラン(目標と実績)
- 環境保全推進体制
- 環境マネジメントシステム
- 環境監査
- サプライチェーンでの取り組み
- 環境負荷の全体像
- 環境リスク管理
- グリーン購入
- グリーン調達ガイドライン
- 環境会計
- 2014年度の主な環境パフォーマンス

環境活動レポート

さまざまな環境課題に対応するため、環境取り組みプランの枠組みに沿って積極的に活動を推進しています。

製品・サービス

- 考え方 / 直近の実績と課題

地球温暖化への取り組み
- 日野自動車の製品環境技術
- LCAを取り入れた製品環境マネジメント
- エコドライブ講習

3Rを通じた資源循環の推進
- リサイクル性を考慮した製品設計
- 再資源化段階の環境活動

環境保全と自然との共生
- 大気環境改善に資する排出ガス低減技術
- 化学物質への取り組み

モノづくり

- 考え方 / 直近の実績と課題

地球温暖化への取り組み
- 工場におけるCO_2排出量の低減事例
- 再生可能エネルギーへの取り組み
- 物流におけるCO_2排出量の低減事例

3Rを通じた資源循環の推進
- 工場における省資源事例
- 工場における節水取り組み

環境保全と自然との共生
- 生物多様性への配慮
- 植樹による森林保全活動
- エコファクトリー活動の推進

その他取り組み(環境コミュニケーション)

- 考え方 / 直近の実績と課題

取り組み事例
- 環境教育
- 環境意識向上のための取り組み
- 社外との環境コミュニケーション
- 日野自動車グリーンファンド
- 国内外グループ会社における環境活動

（例）環境配慮設計事例紹介

環境報告

リサイクル性を考慮した製品設計

日野自動車は1990年代初頭より、リサイクル性を考慮した製品開発、設計に取組んでいます。98年には「自主行動計画」を策定し、リサイクル率等の具体的数値を掲げ、活動の強化を図ってきました。また近年の国内外の環境負荷物質規制に対応すべく、早期の削減に取り組んできました。

リサイクル材料の使用

製品の一部に再生フェルト、廃木材（ハードボード）、樹脂バンパー回収品などリサイクル材を使用することで、資源の有効利用に貢献しております。

バッテリーカバーに樹脂バンパー回収品を使用

リサイクル性を考慮した材料の採用

インパネやバンパーグリルなど樹脂部品について材料の統合化や無塗装の高光沢樹脂を採用するなどリサイクルしやすい材料を製品開発段階で折り込むようにしております。

無塗装高光沢樹脂のバンパーグリル

（例）ハイブリッド車バッテリーリサイクルマニュアル

サービス情報

ハイブリッド車バッテリーリサイクル

このマニュアルは日野自動車(株)の「ハイブリッド車 バッテリーユニット」の回収・リサイクルマニュアルです。
それぞれのバッテリーユニットの取りはずし方法については、本マニュアルの該当する項目をご覧ください。

なお、車種によりバッテリーユニットの形状、取りはずし方法等が異なりますので、必ず車種・型式をご確認の上、対応する項目を熟読していただき、安全な作業を行ってください。

<HVバッテリーユニット引取依頼>

▷ HVバッテリーユニットの引取依頼を行なう方はこちら

<回収・リサイクルマニュアル>

▷ 表紙/注意書……(355kb／8P)
1. はじめに
2. HVバッテリーユニットの回収・リサイクルシステム概要
3. HVバッテリーユニットの取扱い上の留意点
4. HVバッテリーユニットの引取りをお断りする場合の事例

車種ごとの取り外しマニュアル

小型トラック 日野デュトロハイブリッド
▷ VF-XKU系……(592kb／4P)
▷ BJG-XKU系……(495kb／4P)
▷ SJG-XKU系……(450kb／4P)

中型トラック 日野レンジャーハイブリッド
▷ VE-SC系……(588kb／4P)

《掲載マニュアル》

参考資料　富士重工業 HP　記載項目

http://www.fhi.co.jp/envi/csr/report/pdf/2015/environment_report-jp.pdf

（例）富士重工業の環境コミュニケーションのページ

児童向け環境コミュニケーション

当社では、各事業所周辺地域の児童向けにさまざまな活動を行なっています。

群馬製作所

小学校教育の一助として工場見学の受け入れを継続して実施し、2014年度は、約84,200名の児童を受け入れました。

また、同敷地内にあるスバルビジターセンターでは、8月に工場とクルマのリサイクルを紹介するゾーンを別フロアに移動し一新しました。
こちらでは、壁面のパネルの中に実際にリサイクルされるもの、リサイクルの結果出来上がったものを収納し、見学にいらした小学生のみなさまにとってより判り易い展示となりました。

宇都宮製作所

宇都宮市内の小学生や半田市内の小・中学校に、従業員が出向き、環境問題への理解を深めてもらう環境出前教育を継続的に行っています。2014年度は約1,289名の小学生が参加しました。

地球温暖化の原因として、二酸化炭素を主とした温室効果ガスが挙げられています。環境出前教育では、地球に見立てたフラスコを2つ用意し、1つには二酸化炭素を、もう1つには空気を充満させ、太陽に見立てた赤外線ランプで温め温度の変化を測定しました。
すると二酸化炭素を充満させたフラスコの方の温度が高くなり、二酸化炭素には温室効果がある、ということを実感してもらいました。

今後も、児童向けコミュニケーションの充実を図っていきます。

（例）富士重工業（スバル）の環境配慮設計のページ

リサイクル配慮設計の推進

当社では、限りある資源を有効に活用していくために、リサイクルを考慮したクルマづくりを推進しています。

ワイヤリングハーネス類の解体性向上

ワイヤリングハーネスには多くの銅が使用されているため、シュレッダー処理前にこれらが使用済み自動車より回収できれば、鉄と銅の分別が進み、資源の利用価値も上がります。

当社では、短時間で効率よく回収できるハーネスレイアウトや構造について研究を行っています。「5代目レガシィ(2009年国内発売)」以降の新型車には、これらの成果を織り込んでいます。

材質表示の改善

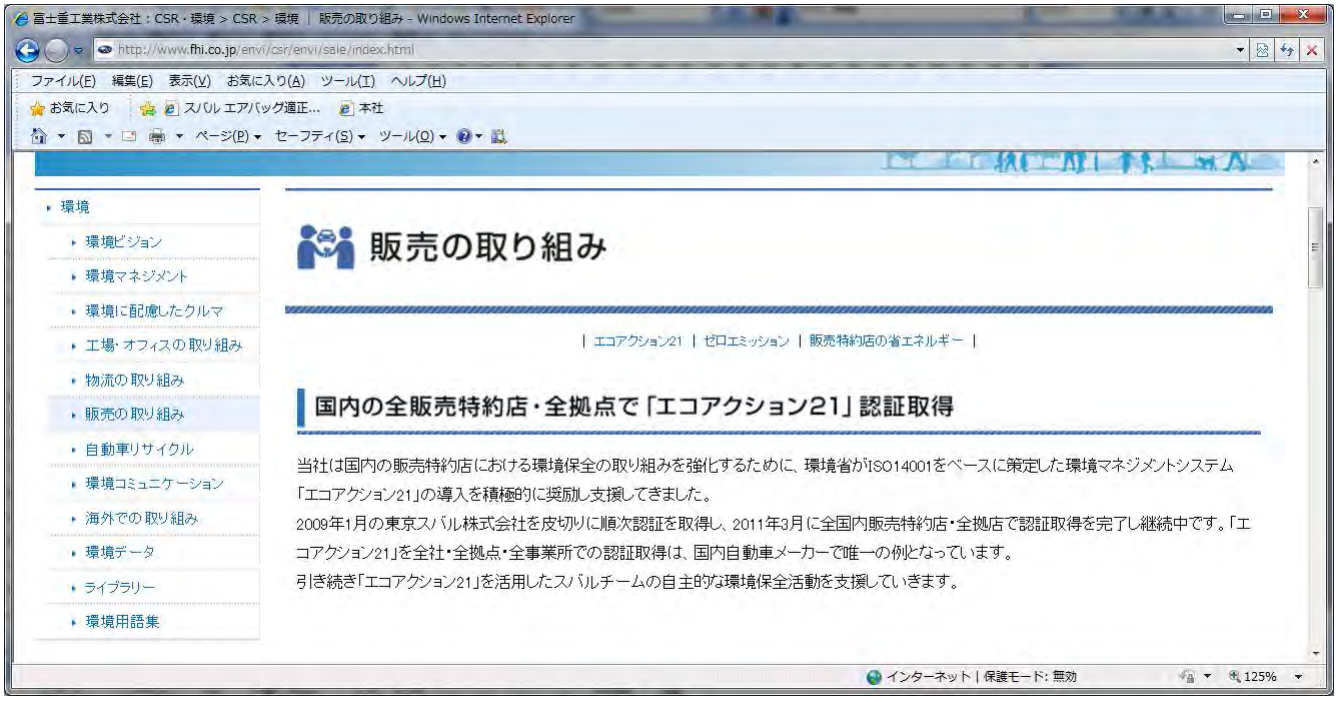
部品材料のリサイクルは、その材質確認が重要です。
当社は業界ガイドラインに先駆け、1973年から樹脂部品の材質表示を行っています。

以前は目立たない裏面に表示し、部品を分解しないと材質が確認できませんでしたが、リサイクルする際に分解作業なしで部品を材質で仕分けて、作業を効率化するように表示位置を改善しました。

現在、スバル全車種のバンパーに実施しています。

（例）富士重工業（スバル）の自動車リサイクルのページ

（例）富士重工業（スバル）の販売の取組みのページ

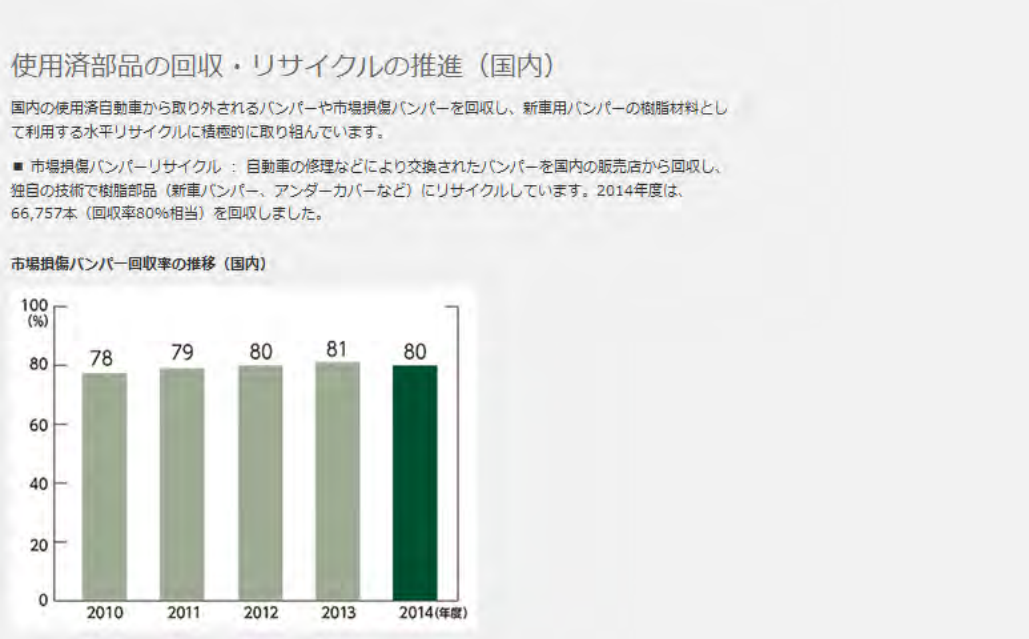


参考資料　マツダ HP　記載項目

http://www.mazda.com/ja/csr/environment/

（例）マツダ　キャパシター強制放電要領のダウンロードページ

（例）使用済部品の回収・リサイクルの推進



参考資料

三菱ふそうトラック・バス　HP 記載項目

http://www.mitsubishi-fuso.com/ECO/index.html

（例）三菱ふそう　Canter エコハイブリット 情報

http://www.mitsubishi-fuso.com/jp/lineup/truck/canter/eco-hybrid/2012/technology/feature/index.html

（例）三菱ふそう ゼロミッション電気小型トラック

http://www.mitsubishi-fuso.com/jp/news/news_content/150630/150630.html

三菱ふそう

ゼロエミッションの電気小型トラック「キャンター E-CELL」ボルトガルでの1年間の実用供試が終了

2015年6月30日

三菱ふそうトラック・バス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO:マーク・リストセーヤ、以下MFTBC)は、6月29日にポルトガルのリスボンにて、同国ポルタス副首相をはじめとする政府関係者、実用供試に協力いただいたお客様を招待し、ポルトガル国内で1年間実施した、排出ガスゼロの電気小型トラック「キャンター E-CELL」の実用供試が無事終了した事を発表しました。

MFTBC代表取締役社長・CEOおよびダイムラー・トラック・アジア総責任者のマーク・リストセーヤは、「今回のキャンター E-CELLのプロジェクトは、ポルトガル政府とダイムラー・トラック部門にとって革新的な出来事であり、協力体制の結果であります。この車両は、お客様と社会全体にメリットをもたらすとともに、持続可能性と信頼性のある、次世代の輸送業界をリードする一つの解決策です。この実用供試に協力いただいたお客様には、キャンターE-CELLのコンセプトが都市内の配送にとって効率的で、信頼性があることを肌に実感いただいており、私達の取り組みが正しい方向に向かっていると確信しています。」と述べました。

MFTBCは、ダイムラー・トラック部門において、ハイブリッド技術の開発をリードして参りました。この電気小型トラック「キャンター E-CELL」は、これまでの経験を活かし開発を進めた車両です。

参考資料　UD トラックス　HP 記載項目

http://cdn.udtrucks.com/media.axd/Files/Japan/environmental%20care/full_0515.pdf?v=1xB4pdA5AAA

CSR活動報告⑦

環境経営の推進に向けて

UDトラックスは、ボルボ・グループのビジョンに沿った環境プログラムや環境管理・保全に関する中長期計画に基づき、製品の環境性能の向上と自社の事業活動に伴う環境負荷の低減を積極的に推進し、持続可能な社会の実現をめざしています。

環境マネジメント方針

4つのプログラムで持続可能な社会の実現に貢献

ボルボ・グループは、「環境への配慮」を企業理念の一つに掲げ、この分野におけるリーディングカンパニーをめざしています。

このビジョンに沿って、UDトラックスは、「全体的な視点」「継続的な改善」「技術の発展」「資源の利用効率向上」の4つからなる環境プログラムを推進し、持続可能な社会の実現をめざしています。

環境プログラム

全体的な視点
製品ライフサイクル全体を考慮し、製品・業務・サービスが環境に及ぼす影響を低減する取り組み

継続的な改善
従業員が主体となって、それぞれの業務のなかで必然的・継続的に推進する取り組み

技術の発展
お客様や社会からの要請・期待を上回る、自発的・先駆的な研究開発

資源の利用効率向上
天然資源の消費削減や廃棄物の発生抑制につながる取り組み

事業活動に伴う環境影響

製品ライフサイクルの全段階で資源の有効利用と環境負荷低減を推進

UDトラックスは、開発・設計から廃棄・リサイクルまで製品ライフサイクルのすべての段階で環境負荷分析を行い、環境に配慮した製品を提供するとともに、資源の有効利用と環境負荷の低減に取り組んでいます。

化学物質の管理

製品に含まれる化学物質の管理を徹底

化学物質の製造・輸入・管理、環境配慮設計、リサイクルなどに関する法規制や産業界の自主基準の遵守を前提に、自動車業界の統一化学物質リスト(GADSL)に基づき、製品に含有される化学物質の管理に努めています。

化学物質管理の取り組み

開発・設計段階

- 各工程でサプライヤーを含めた化学物質の使用状況を確認
- 必要に応じてIMDS※1へ情報を登録

生産段階

- PRTR制度※2に基づき毎年届出・報告を実施
- 社内基準として運用し有害物質代替活動を推進

※1　世界各国の自動車メーカーが環境保全を目的に共同で運営している材料データベース。
※2　特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律。

廃棄物削減

製品廃棄時の環境負荷を低減

製品ライフサイクルで最も多く廃棄物が発生するのは、ディーラーでの製品廃棄時です。そのためUDトラックスでは廃棄物管理体制を構築し、2014年には廃棄物分別管理に関する社内処理基準を各ディーラー拠点に導入しています。

これに従って、各ディーラー拠点では専用の設備を設置して廃棄物を26カテゴリーに分別する取り組みを行っています。

また、UDトラックスでは、製品廃棄・リサイクル段階以外の廃棄物削減も推進しています。開発段階においては、バンパーの3分割化など、部品の解体のしやすさを考慮した設計を行っています。また生産段階では、最終処分量の削減を目標に、廃棄物の発生抑制と再資源化に取り組んでいます。2013年度においては、焼却残さの再資源化や廃棄物の分別活動などを推進し、廃棄物最終処分量を1990年度比で99.9%削減しました。また、再資源化率も全社で99%以上(ゼロエミッション)となりました。

さらに、流通段階ではサービスパーツの発送に使う梱包容器の再利用のためにリターナブル化を進めています。

【解体事業者向け情報】

趣旨：電気自動車・ハイブリッド自動車等は高電圧部位があるため、取り扱いに注意が必要となる。 特に、災害等で損傷した車両の取扱いは、迅速かつ、慎重な対応が必要であるため、これらの車両に対する作業安全上等に関する主な注意事項について周知を図る。

掲載箇所：自再協 HP 最新トピックスにて各社の取り外し/レスキューマニュアルのURL、対象車種、問い合わせ窓口等を紹介（毎年 5 月時点で更新）
http://www.jarp.org/pdfs/information/20151014_hybridcar_information.pdf

---

いすゞ自動車（株）

レスキューマニュアル

http://www.isuzu.co.jp/company/csr/recycle/info/index.html

取外しマニュアル

http://www.isuzu.co.jp/company/csr/recycle/info/index.html

スズキ（株）

取外しマニュアル

http://www.suzuki.co.jp/about/csr/recycle/evandhybridtoriatsukai.html

http://www.suzuki.co.jp/about/csr/recycle/battery/index.html

ダイハツ工業（株）

取外しマニュアル

http://www.daihatsu.co.jp/company/csr/recycle/pdf/hv_cargo_recycle.pdf

トヨタ自動車（株）

レスキューマニュアル

http://www.toyota.co.jp/jpn/tech/safety/technology/help_net/rescue.html

取外しマニュアル

http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/recycling_based/battery_recycle/index.html#title02

日産自動車（株）

レスキューマニュアル

http://www.nissan-global.com/JP/SAFETY/RESCUE/

取外しマニュアル

http://www.nissan-global.com/JP/ENVIRONMENT/A_RECYCLE/BATTERY/

日野自動車（株）

レスキューマニュアル

http://www.hino.co.jp/service/hybrid/index.html

取外しマニュアル

http://www.hino.co.jp/service/hv_battery_recycle/index.html

富士重工業（株）

レスキューマニュアル

http://www.fhi.co.jp/rescue/hybrid/

本田技研工業（株）

レスキューマニュアル

http://www.honda.co.jp/rescue-auto/

取外しマニュアル

http://www.honda.co.jp/auto-recycle/recycle_07.html

マツダ（株）

レスキューマニュアル

http://www.mazda.co.jp/service/support/advice/rescue/

取外しマニュアル

http://www.mazda.com/jp/csr/environment/recycling/info.html

三菱自動車工業（株）

レスキューマニュアル

http://www.mitsubishi-motors.com/jp/spirit/technology/library/maintenance/index.html

取外しマニュアル

http://www.mitsubishi-motors.com/jp/social/environment/recyclelow/battery.html

三菱ふそうトラック・バス（株）

レスキューマニュアル

http://www.mitsubishi-fuso.com/jp/information/rescue_manual/index.html

取外しマニュアル

http://www.mitsubishi-fuso.com/jp/information/battery_recycle/index.html

【解体事業者向け情報】

趣旨：次世代自動車のレアメタル含有部品の効率的な回収・リサイクルに資するため、レアメタルを含有する代表的な部品を使用したモデル名、取外しマニュアルを JARS HP を通じて解体事業者へ情報を提供している。

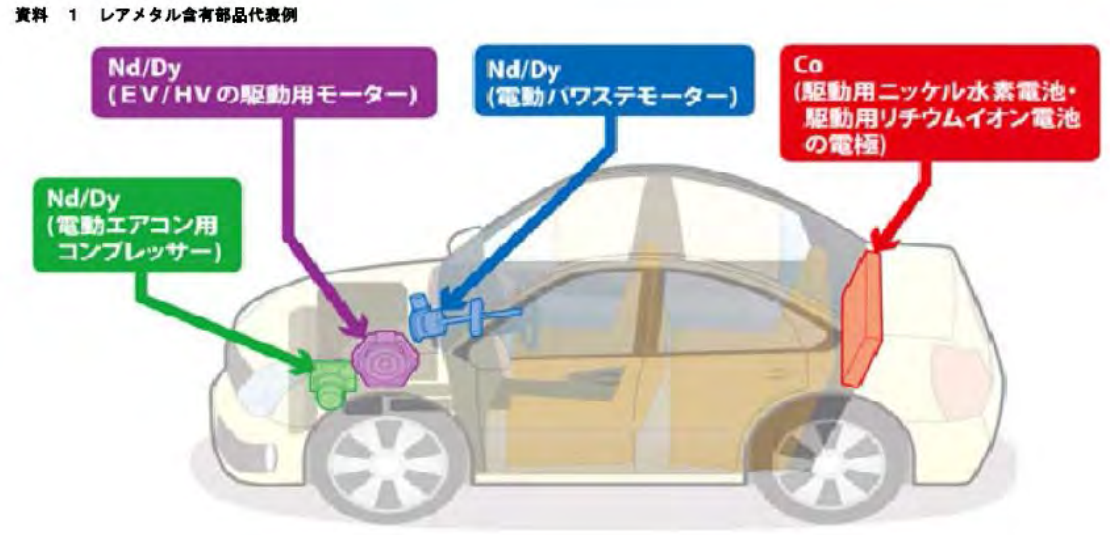
掲載箇所：公益財団法人自動車リサイクル促進センター(JARC)の自動車リサイクルシステム(JARS)HP 解体業者向け「お知らせ」に各社のモデル別レアメタル含有部品情報、取り外しマニュアルの URL を紹介　(毎年 5 月時点で更新)

http://www3.jars.gr.jp/p/RPT09.nsf/0/1448B05179F3ADC849257A97005536C2?OpenDocument

---

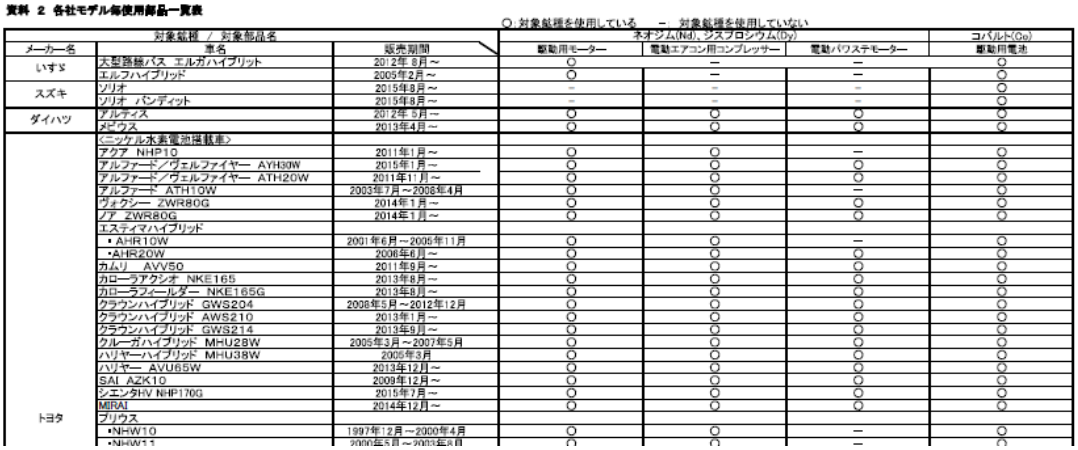
【主な使用部位】

http://www3.jars.gr.jp/p/RPT09.nsf/0/1448b05179f3adc849257a97005536c2/$FILE/%E8%B3%87%E6%96%991%20%E3%83%AC%E3%82%A2%E3%83%A1%E3%82%BF%E3%83%AB%E5%90%AB%E6%9C%89%E9%83%A8%E5%93%81%E4%BB%A3%E8%A1%A8%E4%BE%8B.pdf



【レアメタル含有部品使用モデル一覧表　（抜粋）】

http://www3.jars.gr.jp/p/RPT09.nsf/0/1448b05179f3adc849257a97005536c2/$FILE/%E8%B3%87%E6%96%992%20%E5%90%84%E7%A4%BE%E3%83%A2%E3%83%87%E3%83%AB%E6%AF%8E%E4%BD%BF%E7%94%A8%E9%83%A8%E5%93%81%E4%B8%80%E8%A6%A7%E8%A1%A8.pdf



資料 2 各社モデル毎使用部品一覧表

○：対象処理を使用している　－：対象処理を使用していない

メーカー名	対象処理 ／ 対象部品名 車名	販売期間	ネオジム(Nd)、ジスプロシウム(Dy) 駆動用モーター	ネオジム(Nd)、ジスプロシウム(Dy) 電動エアコン用コンプレッサー	ネオジム(Nd)、ジスプロシウム(Dy) 電動パワステモーター	コバルト(Co) 駆動用電池
いすゞ	大型路線バス エルガハイブリット	2012年 8月～	○	－	－	○
	エルフハイブリッド	2005年2月～	○	－	－	○
スズキ	ソリオ	2015年8月～	－	－	－	○
	ソリオ バンディット	2015年8月～	－	－	－	○
ダイハツ	アルティス	2012年 5月～	○	○	○	○
	メビウス	2013年4月～	○	○	○	○
トヨタ	<ニッケル水素電池搭載車>					
	アクア NHP10	2011年1月～	○	○	－	○
	アルファード／ヴェルファイヤー AYH30W	2015年1月～	○	○	○	○
	アルファード／ヴェルファイヤー ATH20W	2011年11月～	○	○	○	○
	アルファード ATH10W	2003年7月～2008年4月	○	○	－	○
	ヴォクシー ZWR80G	2014年1月～	○	○	○	○
	ノア ZWR80G	2014年1月～	○	○	○	○
	エスティマハイブリッド					
	・AHR10W	2001年6月～2005年11月	○	○	－	○
	・AHR20W	2006年6月～	○	○	○	○
	カムリ AVV50	2011年9月～	○	○	○	○
	カローラアクシオ NKE165	2013年8月～	○	○	○	○
	カローラフィールダー NKE165G	2013年8月～	○	○	○	○
	クラウンハイブリッド GWS204	2008年5月～2012年12月	○	○	○	○
	クラウンハイブリッド AWS210	2013年1月～	○	○	○	○
	クラウンハイブリッド GWS214	2013年9月～	○	○	○	○
	クルーガハイブリッド MHU28W	2005年3月～2007年5月	○	○	○	○
	ハリヤーハイブリッド MHU38W	2005年3月	○	○	○	○
	ハリヤー AVU65W	2013年12月～	○	○	○	○
	SAI AZK10	2009年12月～	○	○	○	○
	シエンタHV NHP170G	2015年7月～	○	○	○	○
	MIRAI	2014年12月～	○	○	○	○
	プリウス					
	・NHW10	1997年12月～2000年4月	○	○	－	○
	・NHW11	2000年5月～2003年8月	○	○	－	○

【各社取外しマニュアル URL 一覧表】

http://www3.jars.gr.jp/p/RPT09.nsf/0/1448b05179f3adc849257a97005536c2/$FILE/%E8%B3%87%E6%96%993%20%E5%90%84%E7%A4%BE%E5%8F%96%E5%A4%96%E3%81%97%E3%83%BB%E5%9B%9E%E5%8F%8E%E3%83%9E%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%AB%E6%8E%B2%E8%BC%89HP%E3%82%A2%E3%83%89%E3%83%AC%E3%82%B9%E4%B8%80%E8%A6%A7%E8%A1%A8.pdf

※以下は一覧表記載の各社取外しマニュアルの URL

いすゞ自動車（株）

http://www.isuzu.co.jp/company/csr/recycle/info/index.html

スズキ（株）

http://www.suzuki.co.jp/about/csr/recycle/battery/index.html

ダイハツ工業（株）

http://www.daihatsu.co.jp/company/csr/recycle/hv-recycle/index.htm

トヨタ自動車（株）

http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/recycling_based/battery_recycle/index.html#title02

日産自動車（株）

http://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/environment/recycling_based/batt

ery_recycle/index.html#title02

日野自動車（株）

http://www.hino.co.jp/service/hv_battery_recycle/index.html

富士重工業（株）

http://www.hino.co.jp/service/hv_battery_recycle/index.html

本田技研工業（株）

http://www.hino.co.jp/service/hv_battery_recycle/index.html

マツダ（株） http://www.mazda.com/jp/csr/environment/recycling/info.html

三菱自動車工業（株）

http://www.mitsubishi-motors.com/jp/social/environment/recyclelow/battery.html

三菱ふそうトラック・バス（株）

http://www.mitsubishi-fuso.com/jp/rescue_manual/index.html